

名教スタッフ版

よめよめグラフィック

名前

都築 良仁

★読んだ本について書いてみよう。

ひ	つ
日	付
25	10
日	月

ペー	すう
ジ	数
2	3
ペー	6
ジ	

①本の題名

日本人の9割に英語はいらない 英語業界のカモになるな！

②本の作者

成毛 眞

③私のおすすめの本を、紹介します。

タイトルを見たときに、衝撃を受けました。私は日本人に英語を教えることを職業としている人間です。ケンカを売られた気分がこの本を手にとりました。しかし、読んでいくうちに分かりました。著者が主張していることは、英語の勉強に優先順位の1位をつけるのではなく、日本について勉強し、他国についての理解を深めることこそ、英語よりも先に勉強するべきだということです。我々は日本人で、我々の9割が将来、日本で日本人を相手に仕事をし、日本社会の中で生活していきます。その9割にあたる人間は、英語ではなく、まず日本で生きていく力を身につけるべきだということです。

成毛氏は、日本マイクロソフトの元トップという経歴の持ち主です。元外資系トップだからこそ、日本人が日本人として世界でどのように生きていくべきか、我々に本当に必要な力は何であるかをこの本の中で述べています。

「英語だけが出来ても仕方がない。」これは、例えば、英語の発音がもの凄く良くても、ビジネスシーンで、顧客から契約を取り付けることができなければ意味がないということです。

一度断られても、粘り強くやり続けるような精神力。相手と良好な関係を築くコミュニケーション能力。英語だけ勉強してもそれらの力をつけることはできません。

英語を勉強する時間があつたら、たくさんの本を読んで人間力を高めた方が役に立つのだというのが著者の考えです。英語だけ勉強しても意味がありません。知識があつてこそ、英語を使うことができるからです。ネイティブのような発音ができることよりも、英語を使ってどのような話をするのが大切であるのです。知識は英語ベースで手に入れる必要はありません。なぜなら、私たちは日本人だからです。日本人なら日本語ベースで知識が養われるはず。それ無くして英語を勉強しても無駄であるという著者の主張に納得がいきます。

「英語が使える日本人」になるためには、英語だけを勉強してもダメなのです。この本の中に人間力を高めるためにお勧めの本が紹介されています。私もぜひ読んでみようと思います。

ぜひ、読んでみてください。